



沖 大幹

「世界の水問題をめぐる最新動向」 - 気候変動とウォーターフットプリント -

水・地球環境問題特別研究会

RC-70

1. 代表幹事

- 沖 大幹 (東京大学 生産技術研究所 人間・社会系部門 教授)
- 幹事
- 伊坪徳宏 (東京都市大学 環境学部 教授)
- 沖 一雄 (東京大学 生産技術研究所 人間・社会系部門 准教授)
- 芳村 圭 (東京大学 大気海洋研究所 気候システム研究系 准教授)

連絡先

黒澤綾子 (沖 研究室)
 Tel : 03-5452-6382
 Fax : 03-5452-6383
 e-mail : hnak@rainbow.iis.u-tokyo.ac.jp

2. 主旨

2015年1月、潜在的な影響が最も大きいと懸念されるグローバルリスクは水危機であるとダボス会議で知られる世界経済フォーラムが発表しました。2016年版でも、今後10年に懸念されるグローバルリスクとしてやはり水危機が1位に位置づけられています。

2015年9月には国連の持続可能な開発目標 (SDGs) が全会一致で採択され、12月には気候変動に関する国際連合枠組条約 (UNFCCC) の第21回締約国会議 (COP21) で法的拘束力を持つパリ協定が採択されましたが、どちらの達成にも水リスクの適切な管理がその鍵です。

さらに2015年12月、アメリカ合衆国ホワイトハウスは、技術革新、社会インフラ整備、観測データ収集、水共有の合意、水の再生利用や保全技術の発明などにより、気候変動に伴い切迫している水供給をより適切に管理しようという取り組み、"moonshot for water" を打ち出しました。アポロ計画による人類の月着陸と同様の挑戦を水に対して行わねばならない、というアメリカにおける水への危機感とオバマ大統領の強い意思の反映です。

このように、世界では重大なグローバルリスクであると認識されている水危機について、何がどう問題で国際社会はどのように解決しようとしているのか、貧困撲滅や持続可能性の構築とどう関係するのか、そして日本の経済活動や企業、外交にとって水への取り組みがなぜどのように大事なのかを解き明かし、水分野でも各企業が主体的に環境マネジメントに取り組める具体的な方策を探り、そのために必要な技術開発と共有を展開します。皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

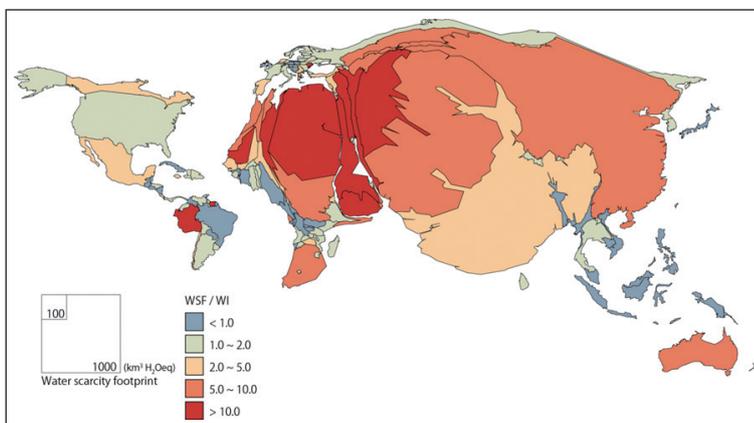
3. その他

期 間：平成28年4月～平成29年3月

参 加 費：賛助員の場合：15万円 (別途賛助員年会費1口10万円がかかります)
 非賛助員の場合：25万円

定 員：最小3社、最大20社

運 営 方 法：年4回程度、1回2時間程度の定例研究会を開催



各国の水不足指標の大きさをデフォルメした世界地図。
 色は水利用インベントリに対する比の大きさを示す。



2014年3月横浜でのIPCC総会での様子

特別研究会申込方法

下記連絡先まで郵送、FAXまたは電子メールでお申し込みください。

連絡先：〒153-8505 東京都目黒区駒場4-6-1 東京大学生産技術研究所内 Dw405

一般財団法人 生産技術研究奨励会 特別研究会係

TEL：03 (5452) 6095 FAX：03 (5452) 6096

e-mail：renhisho@iis.u-tokyo.ac.jp

●ホームページアドレス：http://www.iis.u-tokyo.ac.jp/shourei/

平成28年度 特別研究会申込書

いずれかに○をつけてください。

申込日：平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日

[] 新規

[] 継続（継続参加の場合も、年度毎に申込書をご提出ください。）

(1) 特別研究会No. : RC-

.....

(2) 貴社名 :

.....

(3) 参加者（参加者複数の場合は、代表者をご記入いただき、その他の方は別紙でご提出ください。）

（フリガナ）

■氏名 :

.....

■所属 :

.....

■役職 :

.....

■勤務先所在地 : 〒

.....

■電話番号 :

■Fax :

.....

■E-mailアドレス :

.....

(4) 事務担当連絡先（上記(3)と同一の場合、ご記入の必要はありません。）

（フリガナ）

■氏名 :

.....

■所属 :

.....

■役職 :

.....

■勤務先所在地 : 〒

.....

■電話番号 :

■Fax :

.....

■E-mailアドレス :

.....

(5) その他（ご希望や新しい特別研究会のご提案も歓迎いたします。別紙でも可）

賛助員について

いずれかに○をつけてください。2と3については口数をご記入ください。

1. 既に賛助員である。

2. 既に賛助員であるが、増口する。

(1口につき年会費10万円)

3. 賛助員未入会につき、新規申込みをする。

(1口につき年会費10万円)

4. 賛助員申込みをしない。

ご不明の場合には、上記までお問い合わせください。

賛助員の詳細については、<http://www.iis.u-tokyo.ac.jp/shourei/memberhp.html>をご覧ください。